

## 2月のカレンダー



- 3日 節分  
4日 立春  
7日 北方領土の日  
11日 建国記念の日  
14日 聖バレンタインデー  
18日 雨水  
23日 皇太子誕生日



2月



強い寒気により各地で記録的な積雪がありましたが、幸い当地では冷え込んだものの雪に見舞われることもなく、立春を迎えようとしています。毎日のニュースでは、気象予報と米国トランプ新大統領の話題が流れます。アメリカファーストをかかげ、世界への様々な影響が懸念される一方、小池都知事は都民ファースト、オリンピック会場問題ではアスリートファーストなど“～～ファースト”という言葉がよく聞かれます。誰を何を最優先するかを考えることは大事ですが、みなご自己主張しては解決の道は遠くなるような気がします。“彼方を立てれば此方が立たず”古来、日本文化のもつ“謙譲の美德”という精神は彼らには理解しがたいことなのではないでしょうか。とはいえ我々医療人は患者ファーストの精神を忘れずに日々の診療に従事することを心がけています。

## お知らせ

新しい超伝導MR I (1.5テスラ)の導入に向けて、外来の一室を改装しております。

工事に伴い、駐車場や病院内への関係者の出入りや、騒音などでご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

4月から検査開始予定です。今より短時間でより鮮明な画像検査が可能になります。

## 診察室から

## “ノーベル医学・生理学賞”

今年度のノーベル医学・生理学賞は、自食作用を解明した大隅良典博士が受賞されました。これで日本人のノーベル賞受賞者は25人になります。ノーベル賞が設立されたのは1901年ですが、湯川秀樹博士が物理学賞を受賞するまで48年、医学・生理学賞にいたっては利根川進博士まで86年もの歳月が流れています。

第1回ノーベル医学・生理学賞は、ジフテリアの血清療法を完成させたベーリングですが、共同研究者は当時コッホ研究所に留学していた北里柴三郎です。北里はそれまで不可能とされていた破傷風菌の純粋培養に成功。血清療法を創始して後年のワクチン療法の発展に大きく貢献しました。ベーリングの成果は北里なくしては得られなかったと考えられます。しかし共同研究者の北里は受賞対象となりませんでした。

なぜ北里は受賞できなかったのでしょうか。ヒットラーは「我が闘争」で、アーリア人こそが優越民族だと唱えています。当時の欧米科学会には、東洋人に対するいわれなき偏見があったようです。

—ミニ知識—

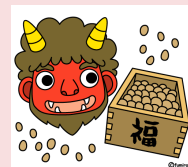
## 今月の栄養教室

テーマ：「脂質異常症と食事について」  
日時：2月27日(月)  
11:40～  
場所：1階食堂

どなたでもご参加ください。

## 2月3日は「節分」

節分とは冬と春の季節の変わり目を指します。季節の変わり目は邪気が入りやすいと考えられていたために、豆まきが行われるようになりました。



◆豆まきの豆＝大豆は五穀の一つで穀霊が宿るとされており、米に次いで神事に用いられてきました。米よりも粒が大きく、穀霊で悪霊を払うのに最適であることや、魔の目(魔目＝まめ)に豆をぶつけて魔を滅する(魔滅＝まめ)にも通じます。

◆恵方巻き＝福を巻き込む巻きずしという所からそう呼ばれているそうです。具は七福神にちなみ、かんぴょう・きゅうり・しいたけ・伊達巻・うなぎ・でんぶなど七種類の具を入れます。今年の恵方は(北北西)です。

管理栄養士 河内

♥ 患者様の欄ももうけたいと思います。♥  
患者様からのご意見・ご投稿をお待ちしています。